

北山だより

北山湿地(池金町)は、岡崎市自然環境保全条例に基づく自然環境保護区に指定されています。湿地およびその周辺でのすべての動植物の採取等の行為は禁止されています。これに違反した場合は、30万円以下の罰金が科せられる場合があります。貴重な自然環境の保護にご協力ください。

北山湿地を守る活動

【1月の作業内容(21日(土)9時~正午) 参加12人】①A湿地の草刈り②K湿地のササ刈り③やなが沢池堤防の刈払機による刈り取り

2月の北山湿地もやはりしんとしていて寒い♣木道には滑り止めが施されていますが日陰などで霜がおりていれば滑りますの

でご注意を♠生きものはあまり見かけませんが、昆虫の中には成虫で越冬するものがあり、朽ち木や落ち葉の下、葉の裏側などに隠れている場合も♣また植物はさまざまな冬芽を楽しむことも一興。リョウブ、サクラバハンノキ、コバノミツバツツジ、クロミノニシゴリなど♠

きたやま歳時記⑱ 北山の樹木—ネズミサシ(杜松)

ベポー 常緑針葉樹 花期 4月 雌雄異株 トショウとは盆栽用の呼び名。私が子供の頃はベポーと呼んでいました。

昔話に「太陽とネズミ」という話があります。

ネズミの親はこの世で一番強いもの(人?)へ娘を嫁がせようと思っていました。ある日、太陽の所へ行って娘を嫁にもらってくれないかと申し込みました。しかし太陽は「私より強いものがある。それは雲さんだ。私はすぐに隠されてしまう」と言います。ネズミの親は雲さんの所へ行き娘を嫁にもらってくれないかと頼みました。しかし雲さんは「風さんの方が強い。私はすぐに吹き飛ばされてしまう」と言います。ネズミの親は風さんの所へ行き頼み込みました。しかし風さんは「私がいくらがんばっても壁さんには勝てない」と言います。ネズミの親は壁さんの所へ行きました。しかし壁さんは「とんでもない。私はネズミさんにはかないません。かじられたり穴を開けられ、大切な米を食べられてしまいます」と言います。こうして、娘はネズミの所へ嫁に行きました。



この話にあるように、米倉に穴を開けられては大変です。人間は考えました。手で触れただけでも痛い針のような葉のついた小枝を穴に置けばネズミは通れない。そこでネズミサシの葉を壁土に混ぜて米倉の壁が造られました。

ネズミを刺す—。「ネズミサシ」命名の由来の一説です。(文と写真/おかざき湿地保護の会 名倉正志)



ネットを検索すると、意外と冬芽を好んで撮影する写真愛好家が多いようです。花のような美しさはありませんがじつに個性的で、よく観察するとなかなかおもしろいものです♣ネットで検索と言えば、今の時期「北山湿地」で検索すると真っ先に表示されるサイトが、リコーエレメックス株式会社岡崎事業所社員による、北山湿地でのボランティア活動。湿地保護の会唯一の法人会員です♠リコーグループは環境保全による利益創出—環境経営—を掲げており、全社員が環境負荷削減に取り組むとしています♣北山湿地でも毎回ご参加いただき、除草・除伐、木道づくりなどにご尽力いただいています。平均年齢のやや高い会員の中で、若い方が参加されるので助かります。



1月28日(土)、岡崎市自然共生課は水とみどりの森の駅の一つ「おかざき自然体験の森(八ツ木町)」でバードウォッチングを開催しました。34人が参加し、岡崎野鳥の会の指導の下、21種を観察。身近な里山にも多様な生きものが生息する豊かな自然が残されていることを学びました。【主な野鳥】オオタカ、ハイタカ、トビ、カワセミ、キセキレイ、コゲラ、ルリビタキ、ジョウビタキ、シロハラ、エナガ、ヤマガラ、メジロ、アオジ、ウグイス